



校長室だより

令和6年度

7月19日

NO. 21

とびっきりの自分の体験を大切に！ 素梨っ子の夏休み！！



十七日には、岡崎市保健所から歯科衛生士さんがみえて、「歯の健康」について、五、六年生に授業をしてくれました。よい生活習慣のポイントや気を付けること、そして正しい歯の磨き方まで、教えてもらい、その後、赤く染まった磨き残しをみんなちゃんと磨く練習をしました。いつもしっかり磨けているか、磨き残しが多いか、一人一人、自分の歯磨きを振り返ることができました。学校の授業だけでなく、専門の人に教えてもらい自分でやってみることで、頭と体に残る学びになります。

一学期はこのように、学区の方や専門の方に来ていただいて話を聞いたり、実際に見学に行ったりすることが多くありました。読み聞かせも今年から始まりました。普段の授業では学べない体験がたくさんできたことと思います。こうして、いろいろな人から多くの話を聞くことで、今まで知らなかったことを吸収したり、これまで「こうじゃないか」と思っていたこと以上に、多様な見方や考え方に触れたりできます。これは、将来、多様な世界に対応するためにとっても大切なことになります。

今年の課題図書に「じゅげむの夏」という本があります。これは、四年生の夏休みにやりたいことを宣言した病気の友達のもと、みんなで一致団結していろいろなことに挑戦するお話です。また、先生の好きな本で「夏の庭」も、人が死ぬところを見たいという三人組と一人ぼっちのお爺さんとの、夏休みの心の交流を描いた作品です。もちろん本と同じことをするわけではありませんが、夏休みという時間は授業と違って、みんなそれぞれ、自分だけの体験をする時間になります。そして授業と違って、課題を決めるのも、挑戦するのも、そして振り返るのも、みんなそれぞれ違います。（もちろん友達と家族と一緒にでもいいです。）そんな自分の挑戦をぜひ、夏休みにしてほしいと願います。

- ・ 授業をしてくださったのは、岡崎市保健所の歯科衛生士 内藤千紗子先生です。
- ・ 紹介した本は、「じゅげむの夏」（最上一平作／佼成出版社）、「夏の庭—The Friends」（湯本香樹実／新潮文庫）です。二学期半ばより学校の本がバーコードでの貸し出しに変わります。